

令和2年4月7日

各 位

会 社 名 株式会社マネーパートナーズグループ
 代表者名 代表取締役社長 奥山 泰全
 (コード番号：8732 東証第一部)
 問合せ先 財 務 部 長 権代 徹也
 (TEL. 03-4540-3804)

2020年3月次 月次概況（速報）のお知らせ

2020年3月次の当社グループの月次概況（連結ベース）を下記のとおりお知らせいたします。なお、営業収益及び外国為替取引預り証拠金は速報値であるため、決算発表時の数値と異なる場合があります。

記

年 月	2019年3月期											
	2018年									2019年		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
営業収益 (単位：百万円)	536	519	478	439	670	606	476	435	547	460	360	698
外国為替取引高 (単位：百万通貨単位)	91,552	116,599	101,591	92,238	107,310	84,706	118,371	96,598	91,536	133,017	75,614	77,410
外国為替取引口座数 (単位：口座)	315,872	317,341	318,698	319,983	321,275	322,271	323,931	325,232	326,421	327,859	329,061	330,230
外国為替取引預り証拠金 (単位：百万円)	62,379	61,817	63,050	63,736	62,506	62,707	62,428	62,361	63,000	62,097	61,685	62,557
一般顧客	57,653	57,015	57,840	58,372	57,290	57,094	57,455	57,530	57,897	57,128	56,678	57,205
金融法人（B to B）	4,725	4,802	5,209	5,363	5,216	5,613	4,973	4,831	5,103	4,968	5,006	5,351
マネパカード口座数 (単位：口座)	124,965	129,820	134,553	137,762	139,807	141,535	143,219	144,889	146,856	148,845	150,323	151,621

年 月	2020年3月期											
	2019年									2020年		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
営業収益 (単位：百万円)	436	430	438	446	552	397	411	293	432	506	450	1,077
外国為替取引高 (単位：百万通貨単位)	64,962	85,708	73,679	70,709	121,698	72,241	69,676	43,497	45,475	60,432	87,717	163,604
外国為替取引口座数 (単位：口座)	331,528	332,653	333,795	334,878	335,861	336,996	337,918	338,691	339,443	339,790	340,014	340,483
外国為替取引預り証拠金 (単位：百万円)	64,226	63,060	64,426	64,422	63,282	63,293	64,021	63,383	63,183	69,788	66,290	65,510
一般顧客	57,695	58,098	58,594	58,474	59,231	58,929	59,250	58,536	58,072	64,763	61,596	62,895
金融法人（B to B）	6,531	4,961	5,831	5,948	4,050	4,363	4,770	4,847	5,111	5,025	4,693	2,614
マネパカード口座数 (単位：口座)	152,808	153,899	155,079	156,330	157,321	158,101	158,861	159,676	160,307	161,324	162,167	162,655

- (注) 1. 外国為替取引高は、顧客との相対取引による通貨毎の取引高を原通貨単位のまま合計したものであり、円換算は行っていません。
2. 外国為替取引口座数、マネパカード口座数及び外国為替取引預り証拠金は、それぞれ月末時点の口座数及び残高であります。
3. 2011年8月より差金決済取引（CFD）の取扱いを開始しており、CFDにおける預り証拠金、取引高（原取引単位を米ドルに換算）及びこれに伴うトレーディング収益はそれぞれ「外国為替取引預り証拠金」、「外国為替取引高」及び「営業収益」に含めて表示しております。
4. 外国為替取引預り証拠金は、一般顧客からの取引によるものとB to B取引先である金融法人からの取引によるものを区分して表示しております。

< 3月次の概況 >

3月の外国為替相場は、米ドル／円については、新型コロナウイルスの感染が世界中に広がりを見せたことから、高値111円台後半、安値101円台前半と値幅が10円を超えるボラティルな展開となりました。1ドル＝107円台半ばで取引が始まり、FOMCの緊急利下げやOPECプラス会合での協調減産否決による原油価格の大幅下落等により、9日にはドル売りが加速し101円台前半の安値を付けました。その後は世界的な株安、債券安の流れは変わらず現金志向が強まりドル買いの流れが続き25日には111円台後半の高値を付けました。その後は米新規失業保険申請件数が過去最多となったほか、本邦勢のレパトリによりドルが売られ107円台半ばで月末を迎えました。一方、米ドル／円以外の主要な取扱い通貨である欧州・オセアニア通貨についても、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け大きく乱高下した値動きとなり、外国為替相場の変動率は2010年5月以来の高い水準となりました。

また、金融機関から当社に対して提示される配信レートについては、不安定な状況が継続しました。当社がお客様に対して配信するレートについては、一時的なスプレッドの拡大等不安定な状況もありましたが、可能な限り安定した配信に努めました。

このような状況の中、外国為替取引高は前月比87%増加の1,636億通貨単位となり、営業収益は月次の数値としては2010年5月以来の10億円超えの水準となる1,077百万円となりました。また、顧客基盤については外国為替取引口座数は前月比469口座増加の340,483口座、マネパカード口座数は前月比488口座増加の162,655口座となりました。外国為替取引預り証拠金は、一般顧客分については既存顧客を中心に入金が増加した一方で、金融法人分が減少し、全体では65,510百万円となりました。

以 上